

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●和田竜二騎手がJRA通算1万8000回騎乗を達成

6月14日(日)の3回阪神4日・第2レースでシュトライフリットに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上8人目、現役では7人目となるJRA通算1万8000回騎乗を達成しました。

### ●藤沢和雄調教師がJRA通算1500勝を達成

6月13日(土)の1回函館1日・第10レースとして行われた駒ヶ岳特別ではシークレットアイズが1着となり、同馬を管理する藤沢和雄調教師(美浦)はJRA通算1500勝(延べ8615頭目)を達成しました。尾形藤吉元調教師の1670勝に次いで中央競馬史上2人目、現役では初の1500勝達成となります。

### ●高橋義忠調教師がJRA通算200勝を達成

6月13日(土)の3回東京3日・第11レースとして行われたジュレンSではサンレイポケットが1着となり、同馬を管理する高橋義忠調教師(栗東)は、現役107人目となるJRA通算200勝(延べ2237頭目)を達成しました。

### ●ダイワキャグニーが東京競馬場8勝目をマーク

6月14日(日)の3回東京4日・第11レースとして行われたエプソムC(GⅢ)では、18頭立て9番人気のダイワキャグニー(牡6歳/美浦・菊沢隆徳厩舎)が勝利しました。2着には5番人気のソグリッターリング、3着には18番人気のトラスジェミニが入り、3連単6-1-18の払戻金421万9320円は、JRAの重賞史上第9位の高額払戻金記録。またダイワキャグニーは東京競馬場8勝目で、平成元年以降ではトウショウギアの7勝を上回る最多勝記録となります。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●岩手、愛知、北海道、船橋、ばんえいの一部場外で発売を再開

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地方競馬では2月下旬から全ての場外発売所が休止となっていました。岩手県競馬組合は6月14日から東北地方の9か所の場外と盛岡競馬場(非開催時のみ)で、愛知県競馬組合は6月15日から愛知県と三重県の場外2か所で、北海道は6月17日から道内16か所の場外で、千葉県競馬組合は6月19日から成田場外で、ばんえい競馬を主催する帯広市は6月20日から道内8か所の場外で、それぞれ発売を再開しました。いずれも、開催中の競馬場は引き続き無観客開催となっています。

### ●条件交流競走等が6月29日から再開

地方競馬で実施されるJRAとの条件交流競走は、新型コロナウイルスの影響により4月7日以降、中断されていましたが、6月29日から再開されます。同様に、JRAで実施される重賞競走以外の特別指定交流競走にも、地方馬の出走が可能となります。

### ●東海ダービーは人気のニュータウンガール【各地の主要3歳重賞】

東海ダービー(6月9日、名古屋、1900<sup>米</sup>)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立ったニュータウンガール(牝、父スズカコースウェイ)が2馬身差で完勝、単勝1.3倍の支持に応じて重賞5連勝を達成しています。

### ●6月24日の帝王賞にJRA所属のGI・JpnI勝ち馬7頭が集結

帝王賞(JpnI、6月24日、大井、2000<sup>米</sup>)は、連覇を目指すオメガパフュームを筆頭に、ルヴァンスレーヴ、チュウワウイザード、クリソベリル、ケイティブレイブ、ワイドファラオ、ミツパの順に有力視される豪華メンバーが出走の予定です。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛2000ギニー～シスキンが人気に応える

6月12日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛2000ギニー(3歳牝牝、芝1600<sup>米</sup>)は後方の内ラチ沿いでレースを進めたシスキン(牝、父ファーストディフェンス)が直線で馬群をこじ開けるように抜け出して優勝。単勝3倍の1番人気に応えました。出走11頭中6頭を送り出したA. オブライエン厩舎はバチカンシティーの2着が最高でした。勝ったシスキンは昨年5月のデビューから8月のG1フェニックスS(芝1200<sup>米</sup>)まで4連勝を決めました。続く9月のG1ミドルパークSではゲートで暴れて出走取消。ここはそれ以来のレースでした。C. キーン騎手、G. ライオンズ調教師はともに愛2000ギニー初制覇です。

### ●G1愛1000ギニー～ピースフルが快勝

上記G1愛2000ギニーの翌日に同じカラ競馬場で行われたG1愛1000ギニー(3歳牝、芝1600<sup>米</sup>)はピースフル(父ガリレオ)が先行策から残り300<sup>米</sup>付近で先頭に立って優勝。重賞初制覇をG1で飾りました。ディーブインパクト産駒で2戦2勝だったファンシーブルー(D. オブライエン厩舎)は後方からよく追い上げましたが2着でした。S. ヘファナン騎手はこのレース9年ぶり4度目の優勝、A. オブライエン調教師は連覇で9勝目です。